

交通遺児等奨学金(大学)貸与申請書 ( 予約募集 )

学校名	※ 全・定・通				学 校 コード					学科名			
卒業年月	平成	年	月	※ ( 卒業・卒業見込)		本人携帯電話							
氏 名	フリガナ				※ 性 別	男 女	生 年 月 日	元号	年	月	日		
	-----							平成					
保 護 者	〒				(フリガナ)								
	住所 コード				鹿児島県								
住 所	アパート名 (マンション) 部屋番号				携帯電話								
					固定電話								
※ 入学後の通学方法 (第一希望校)					自宅通学 ・ 自宅外通学								
進 学 希 望 校	第 一 希 望				第 二 希 望								
					※ 国公立・私立			※ 国公立・私立					
	学部(群)				科(類) ※ 昼・夜			学部(群)				科(類) ※ 昼・夜	
大学等入学から卒業までの正規の修学期間					平成29年 4月から平成 年 月まで ( 年間)								
同一生計の家族状況 (別居者の番号を○で囲み, 専修学校在学中の者については高等・専門課程の別を明記。)													
別 居 者 に ○	本人 との 続 柄	氏 名	年齢	所得の種類	在 学 学 校			※ 生徒・学 生の通学 状況	現在受けて いる又は予 約している 奨学金の団 体名				
					※ 設 置 別	学 校 名	学 年						
1	父				—	—	—	—	—				
2	母				—	—	—	—	—				
3	本 人				国・公・私			能・能外					
4					国・公・私			能・能外					
5					国・公・私			能・能外					
6					国・公・私			能・能外					
7					国・公・私			能・能外					
8					国・公・私			能・能外					
9					国・公・私			能・能外					
10					国・公・私			能・能外					

注① ※印の欄は, 該当するものを○で囲むこと

注② 「住所コード」欄は, 別添「住所コード一覧」を参照し記入すること

注③ 「学校名」欄は, “□□高等学校, △△専修学校(専門課程)” など正確に記入すること

\* 記入していただいた情報は, 奨学金以外の目的には利用されません。

家族の生活状況及び奨学金を必要とする理由		
特別 控除 の 申 告 欄	障害のある人のいる世帯 (1級～3級)	障害等級【 種 級】(障害者手帳等の写しを添付) 知的障害【 】(療育手帳等の写しを添付)
	長期療養者の いる世帯	病 名【 】 療養期間【 】 療養場所【 】 療養に要する年間支出額【 万円】 【病状】
	主たる家計支持者が別居し ている世帯(単身赴任等)	別居の理由【 】 単身赴任等に要する年間支出額【 万円】
	震災、風水害、火災その 他の災害又は盗難等の被 害を受けた世帯	被害の種類【 】 被害発生時期【 】 被害内容【 】
特 記 事 項	<p>※申請時において家計支持者が無職無収入の場合は、その理由及び期間等をここに記入した上で、「離職証明書」又は「無職無収入証明書」等を添付すること。</p>	
<p>貴財団の奨学生として採用のうえ、奨学金を貸与して下さるよう申請します。</p> <p>平成 年 月 日</p> <p>本人氏名 (本人自署) 印</p> <p>保護者(連帯保証人)住所 (保護者自署) 氏名 印</p> <p>〔単身赴任等〕住所 別居者</p> <p>公益財団法人鹿児島県育英財団理事長 殿</p>		

- 注① 「障害のある人のいる世帯」における特別控除は、障害等級1級～3級の該当者が対象。
- 注② 「単身赴任等別居者住所」については、主たる家計支持者が単身赴任等で別居している場合に別居先の住所を記入すること。ただし、別紙様式3の「単身赴任等に伴う年間支出額」の様式を併せて提出しなければ特別控除は受けられない。
- 注③ 次の場合は、採用内定が取消しとなるので注意すること。
- ・ 保護者が県外に転居した場合
  - ・ 採用内定となった奨学金の対象校種以外に進学する場合
  - ・ 放送大学、大学及び短期大学の通信教育学部、職業能力開発訓練校等文部科学省管轄外の学校、海外の大学等に進学した場合